

わくわく出前講座

Fukupuku

3月22日の読み聞かせ会（人権ペープサート）をきっかけに、Fukupuku（ふくぷく、と読んでくださいね。）が誕生しました。記念すべき第1回の出前講座としてお邪魔したのは・・・。



うちこ福祉館だより



令和4年
7月発行
電話・FAX
44-3410

Fukupuku（ふくぷく） 名前の由来について

大小さまざまな石鹸の泡やシャボン玉がぷくぷくと膨れ上がるように人権に関する新しい学びや気づきが心に生まれますようにとの願い、同じ泡でも透明にも虹色にも見えるようにひとりひとり違いがあるから素晴らしいというメッセージ、そして福祉館からひとりでも多くの市民の方に啓発の発信をしていきたいという思いから、福祉館の「ふく」を加えFukupukuになりました。よろしくお願いします！

六月十日（月）、内子幼稚園にお邪魔して、園児と保護者の皆さん、先生方に参加していただき、絵本『ねずみくんのきもち』を題材とした、人権ペープサートを行いました。

福祉館職員と、職員の思いに賛同いただいた市民の方、子育て支援センターのセンター長さんにも仲間に加わっていただき、第一歩を踏み出しました。

様々な場や機会を通じて創意工夫を凝らしながら、想像力を豊



ペープサートとは、ペーパーパペットシアターを短縮した言葉で、幼児向けの紙人形劇のことです。表と裏に異なる絵が描かれた紙人形を用いて、表現豊かな紙人形劇を演じられることが特徴といえます。



かにし、理解しやすく、いつでもどこでも学べる人権啓発を推進したいと考えています。

『ねずみくんのきもち』や、他にもやさしく人権について触れあえる絵本の貸し出しを行っております。気軽に職員に声をかけてください。

うちこ福祉館 運営審議会

五月三十日（月）、運営審議会委員、小野植町長、住民課職員、福祉館職員によるうちこ福祉館運営審議会を開き、令和三年度活動報告および事業報告、令和四年度運営方針および事業計画（案）などについて審議していただきました。

委員の皆さんからは「人権対策協議会内子支部との連携を」「相談事業の充実を」「福祉館の認知度向上を」など、様々なご意見をいただきましたので、事業展開に活かして参ります。



健康講座

五月三十一日（火）、今年度最初の健康講座を行いました。

前半は、フィットネスインストラクターの智葉ひとみさんの指導で、健康ウォーキングに挑戦。事前の準備運動が怪我の予防や疲労感の軽減に繋がるこのことで、まずは体操から始め、その後、八日市・護国の町並みを中心に歩きました。



後半は、内子町管理栄養士の河野洋子さんの指導でバランスの良いお弁当づくりに取り組みました。鯛飯・鶏ミンチともやしの味噌つくね・おからの夏なます・旬の野菜蒸しなど全六品を作り完成しました。

愛媛県隣保館職員・所管課職員新任者研修会

五月二十五日（水）、オンラインにて開催された表題研修に参加しました。

元・西条市河北会館館長 瀬尾孝さんと、愛媛県隣保館連絡協議会会長 山下宏二さんによる対談では、「年に一〜二回の人権学習に参加すれば終わりの。それで学んでいる・理解している、になっていないか。」「大勢が少数を排除しようとするのが差別になるのでは。相手を認めるところから始めてみよう。相手を尊重しよう。」「差別心は自分にもある。それを表に出さないようにするために学習をしています。」と話されました。

最後に「歴史から勉強し、それを継続しよう。」「頭ごなしに差別はだめ、と言って相手の心に届くだろうか。苦手な人や考え方が異なる人もいるかもしれないが、沢山の人と出会ってほしい。」と激励していただきました。新任職員だけでなく隣保館で働く全ての職員への期待の言葉だと受け止めました。

わいわい喫茶

五月九日（月）から、月一回のわいわい喫茶を再開しています。五月は《よもぎ芋餅》、六月六日（月）には《豆腐みたらし団子》でした。職員が心を込めて手作りしていますので、今後のお菓子もお楽しみに！

原則、第一月曜日の午後に行いますが、休日や祝日の都合で変わる場合もあります。感染症対策を行っています。状況に応じて急に中止する可能性があります。あらかじめご理解ください。よろしくお願いします。

緑のカーテン成長中

順調にゴーヤが育っています。他にもえひめA1ー1の活用、廃油リサイクルなどエコオフィス推進中です。

